

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

MSW ニュース 3月号

2014年3月3日発行

事務局：大浜第一病院

〒902-8571 那覇市天久 1000 番地

TEL (098) 866 - 5171

FAX (098) 864 - 1874

E-mail t-matayosi@ns.omotokai.jp

編集：泉 綾乃（川平病院）

第2回 沖縄県ソーシャルワーカー学会・社会福祉公開セミナーに参加して

中部徳洲会病院 西銘 知恵

平成26年2月22日（土）に沖縄国際大学にて行われた、沖縄県ソーシャルワーカー学会・社会福祉公開セミナーに参加しました。

今回のテーマが「沖縄県における貧困問題の再検証」という事で、私は、ホームレスの方への支援について発表させて頂きました。

まず始めに発表した内容を簡単に記載したいと思います。

両親が他界し、住んでいた自宅が取り壊され、ホームレスとなり、アルコール性てんかんにて、度重なる救急搬送を繰り返していた方です。

本人の意思を尊重し、情報提供や環境調整等を、各機関とも連携し支援を続けていました。しかし、アパートや施設から逃げ出す等、支援が途中で途切れるという事が続きました。今回のケースを通して、気軽に相談できる専門的な施設を、地域の中で設置する事が必要だと感じ、又、本人のニーズと社会通念との乖離がある中で、支援していく事の難しさも感じました。今回発表するにあたって、職場の方々には多くのアドバイスを頂き、助けて頂きました。とても緊張したのですが、自分を成長させてくれる場となりました。

発表後、皆様からのご質問・ご意見を頂き、住居を見つける事や制度と結び付ける事だけが支援の方法ではなく、本人が生活している場（公園）で人との関わりを持てるような環境を作る事も支援に繋がるという事を学びました。

午後の部では、沖縄の貧困問題や児童問題を数字等で分析されており、沖縄の現状について知る事ができました。今後どういった対策が必要になるのかと、とても考えさせられました。私がMSWとしてできる事は、病院に来る患者様の中で、生活に困窮し、社会や制度から阻害されている人たちに対して、間に立ち、結びつけの役割をしていけるよう、知識とコミュニケーション能力のスキルアップに努めていきたいと思っています。実行委員の皆様、学会までの準備等とても大変だったと思います。

本当にお疲れ様でした。

ありがとうございました。

CONTENTS

社会福祉公開セミナー報告	1
第1回医療ソーシャルワーカー研修会報告	2
運営委員会議事録	3~4
はいさいワーク	4
お知らせ、編集後記	5

第1回 病院医療ソーシャルワーカー研修会に参加して

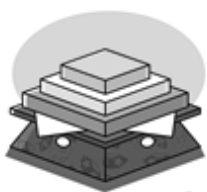
小祿病院 新城 美香子

平成26年2月5日～6日にかけて東京にて全日本病院協会主催の研修会に参加してきました。今回の研修は全国から約150名の参加があり、全日本病院協会が主催する初めての医療ソーシャルワーカー向けの研修となっていました。私が参加した目的はソーシャルワーカーとして組織に対してどのような見方をしていけばいいのかという思いがありました。

1日目は、これまでの医療の動向と4月の診療報酬改定に向けての講演がありました。今回の改定は医療と介護の一体化を目指していて、地域包括ケアシステムを作っていくことや、急性期医療の削減、必要な医療の細分化などを行っていくそうです。また、消費税の増税の影響もあるとのことでした。午後の演習では日頃行っている業務について、KJ法を用いてグループメンバーで出し合い、分類分けしていく作業をしました。私のグループでは県によつての違いなのか、その病院独自なのか、そこまでMSWの業務範囲なのかなというのもあり、驚いたり、感心したりとお互いにたくさんの気づきと改善点を見つけることができました。まとめとしては院内連携の重要性、経営の部分への関わりも多くなっていることや院外、地域との連携でもMSWの役割としては大きいとのこと、自分たちの専門性をアピールしつつ、経営にも関与していくことが求められているそうです。

2日目は、まず、マーケティングについての講演がありました。マーケティングとは『顧客満足をキーワードに売れる仕組みを考える活動』のことをいい、病院に応用すると『患者満足をキーワードに利用される仕組みを考える活動をしていくこと』となるそうです。つまり、患者＝顧客の満足を獲得するために病院として何をすべきかを考えていくことになるのです。いままで、業務をしている中で、そのような考え方で分析していなかったのが、なるほどと思うことが多々ありました。また、演習では、SWOT分析を行いました。SWOT分析とは、組織・地域に対する戦略的行動計画を立てるために、まず、組織の分析を行います。そして、自分の組織にはどのような強みと弱みがあるのかを考え、弱い部分（リスク）があるけれども、それをチャンスと捉えて元々の強みでどう活かすかを考えていきます。そして、具体的な目標設定をして取り組んでいくことだそうです。

この演習を通して、自分の病院の方向性が、今後どのように進めばいいのか、また、3月から上司がやろうとしていることに気づくことができました。もちろん、目の前の患者様の支援も大切ですが、病院という組織を使ってMSWが地域で何ができるかを考えていくことも大切だということを理解しました。この2日間の研修を終えて、大きな収穫を得たと実感しています。また、最後にはグループのメンバーとも仲良くなり、今後も情報交換をしていくことになりました。今年4月には診療報酬改定という荒波が来ますが、その波に飲み込まれるのではなく、その波に乗って、さらに乗りこなせるようになっていきたいと思います。



平成 26 年 2 月運営委員会議事録

*研修部

- ・ 3 月定例会 3 月 14 日（金）18:00～20:00
場所：琉球大学医学部附属病院機能画像診断センター（FIMACC）4 階
内容：「小児がんと患者支援」
外間登氏（T I—DA わらば一む 世話人）
永吉美由紀氏（南部医療センター・こども医療センターMSW）
：「第 1 回 病院ソーシャルワーカー研修会報告」 伊禮氏（那覇市立病院）
- ・ めだか 3 月 18 日 中頭病院 19 時～20 時半 事例検討
事例提供者： 与儀氏（中部徳洲会病院） バイザー： 秦氏（中頭病院）
とりまとめ： 満名氏（与那原中央病院）
- ・ パッチアダムス i n 沖縄 「琉球から世界へ」 ワークショップ
5 月 1 8 日(日) 浦添てだこホール
- ・ 5 月定例会 日程・場所未定
内容：①「ピアサポートの場としてのガン患者会について」講師：大松重宏氏
②総会
- ・ ソーシャルワーカー部門の質向上を目指して
「クオリティ・インジゲーターとソーシャルワーカー介入必要基準」研修会
3 月 8 日(土) 兵庫県立大学神戸商科キャンパス 吉元氏（豊見城中央病院）参加予定
- ・ 在宅チーム医療を担う地域リーダー研修会
3 月 9 日(日) MSW参加予定

*広報部

- ・ 2 月号の編集担当：泉氏（川平病院）

*社会活動部

- ・ H 2 6 年度の県民健康フェアに向け、4 月に集まる予定

*事務局

- ・ 退会者 島袋恵理子氏（老人保健施設 若松苑）
- ・ 3 月 1 日（土） 10 時 45 分～14 時
ハート相談センター 全国担当者会議 嘉手納氏（ちゅうざん病院）参加予定。
- ・ 3 月 23 日（日）9 時半～15 時 10 分
災害ソーシャルワーク研修 「災害と再出発を支えるソーシャルワーク～被災者支援における専門的機能～」 大分県協会主催

・「普通に生きる」 沖縄県立桜野特別支援学校（沖縄県名護市宇茂佐1787番地の1）
平成26年3月9日（日） 14時～

*沖縄県医療ソーシャルワーカー協議会より

次回理事会：3月25日（火）18：30～ 司会：當銘 書記：伊禮 連絡係：島袋

はいさいワーク

医療法人ちゅうざん会 ちゅうざん病院 医療ソーシャルワーカー募集

1. 採用人員：若干名（正職員） 現職：5名
2. 雇用期間：H26.4.1～（採用日は相談可。早い方が望ましい）
3. 募集期間：随時 面接日に関しては担当まで連絡
4. 業務内容：回復期リハビリ病棟（リハビリ単科）におけるソーシャルワーク
 - ・地域連携業務。急性期病院等の紹介患者の入院調整や紹介など
 - ・相談業務。入院患者等の退院援助、療養中の相談対応
5. 資格等：社会福祉士。経験は不問
6. 募集書類：履歴書（一般）、資格取得者は免許状
7. 選考方法：書類選考及び面接
8. 給与等：年俸制。月額160,000円 資格手当あり
休日：年間107日（日曜・祝日含む）
9. 加入保険：社会保険 厚生年金 雇用保険 労災など
10. 手当：通勤手当、住宅手当、家族手当（規定により支給）
11. 問合せ先：〒904-2151 沖縄県沖縄市松本6丁目2番1号
098-982-1346 事務長 上地まで



⊥



⊥

3月定例会

日時：平成26年3月14日（金） 18:00～20:00

場所：琉球大学医学部附属病院機能画像センター 4階

内容：①平成25年度 第4回 沖縄県がん相談支援員実務者研修会
「小児がんと患者支援」

講師：外間 登 氏（Ti-da わらばーむ 世話人）

永吉 美幸 氏（南部医療センター・こども医療センターMSW）

②県外研修報告

・全国日本病院協会 第一回病院医療ソーシャルワーカー研修会
（H26.2.5～H26.2.6 東京都）

報告者 伊禮 智則 氏（那覇市立病院）

・クオリティ・インジケーターとSW介入必要基準 研修会
（H26.3.8 兵庫県）

報告者 吉元 康明 氏（豊見城中央病院）

めだかの学校

日時：平成26年3月18日（火） 19:00～20:30

内容：事例検討会

「独居高齢者にたいする医療ソーシャルワーカーの関わり方」

事例提供者 : 与儀 篤 氏（中部徳洲会病院）

スーパーバイザー：秦 克之 氏（中頭病院）

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会のホームページ

<http://www.msw-oaswhs.jp/>

編集後記

暖かくなったり寒くなったりと寒暖の差が激しい日々が続いていますね。暖かい日には春を乗り越してもう夏なのか！？と思わせられる程です。

今回お忙しい中、原稿を快く引き受けて頂いた皆様、本当にありがとうございます。御座いました。

